

実践4

高等学校 理科 (化学I B)

1 対象・単元・期間

- 対象 2年1・2組(選択) 男子 11名 女子18名
- 単元 「酸と塩基の反応」
- 期間 平成8年10月～12月

2 情意面を活性化するための具体的方策の実践

(1) 定着度別の班編成

教師の支援を効果的に行うために、「酸・塩基」についての中学校での学習内容の定着の程度により上位・中位・下位の3群に分け、それぞれ3～4人の少人数で班を編成して授業を進めた。

(2) 思考活動を活発にするワークシート

調査1で支援要求の高かった項目7(自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる)に配慮し、生徒が自分の考えをまとめることができるようにするため、考える目的や考える内容がわかるようなワークシートを群別に作って、実験や話し合いに取り組みさせた。

3 結果と考察

方策(1)、(2)の効果を把握するために、次のような自己評価票(一部)を用いた。評価結果については段階ア～オを5～1の5段階とし数量化した。

「酸と塩基の反応」の学習について

組番 氏名 _____

次の1～8の項目について、あなたの気持ちにもっともよく当てはまる段階を、右のア～オの中から1つ選んで○印を付けて下さい。

段階	内 容	
ア	とてもそう思う。	
イ	そう思う。	
ウ	普通	
エ	そう思わない。	
オ	まったくそう思わない。	

I 先生から説明や質問を受けたり、ヒントなどを出してもらったりしたことで、

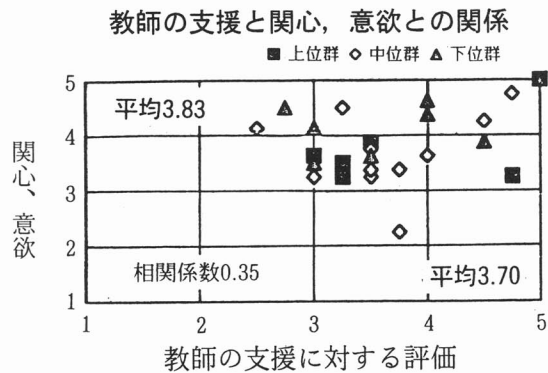
1	以前の授業より、自分の考えをまとめることができた。	アイウエオ
2	以前の授業より、自分の力で最後まで学習することができた。	アイウエオ
3	以前の授業より、考えることが面倒にならなくなった。	アイウエオ
4	以前の授業より、自分からも先生に質問しようと思う気持ちになった。	アイウエオ

II ワークシートを活用したことで

1	以前の授業より、意欲を持って授業に参加することができた。	アイウエオ
2	以前の授業より、計画的に学習や実験を進めることができた。	アイウエオ
3	以前の授業より、自分の考えをまとめたり発表したりすることができた。	アイウエオ
4	これからもワークシートを使って学習したい。	アイウエオ

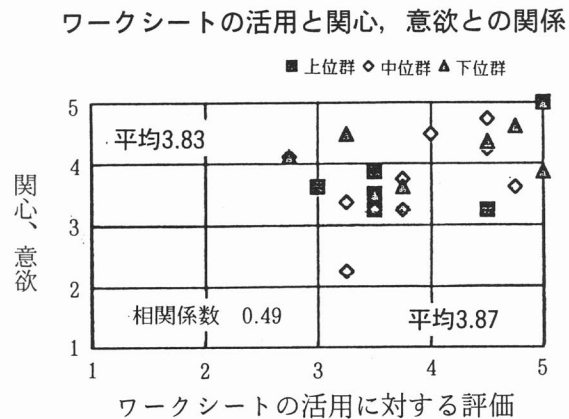
(1) 定着度別班編成の効果

図は、定着度別学習での教師の支援に対する生徒の評価(評価票Iの4項目の平均)と関心、意欲(調査2の項目1～8の平均)との関係を定着度群別にみたものである。教師の支援を肯定的に受け止めている生徒が多かった。関心、意欲の評価では、上位群より下位群の評価が高かった。また、「考えることが面倒にならなくなった」という評価項目について、「そう思う」「とてもそう思う」と、下位群8人中5人が回答し、定着度別に学習することにより、下位群でも思考活動が進んだと考えられる。



(2) ワークシート活用の効果

図は、ワークシートの活用に対する生徒の評価(評価票IIの4項目の平均)と、関心、意欲との関係を定着度群別にみたものである。



次の図は、ワークシートの活用に対する生徒の評価と思考活動(調査2の項目6)との関係を定着度群別にみたものである。